

株主の皆様へ

UACJ

Leading Aluminum. Leading the Way.

2016年3月期
決算報告

2015年4月1日～2016年3月31日



特集

革新的な製品・技術の開発を担う
技術開発研究所

株式会社UACJ

証券コード：5741



世界的なアルミニウム需要の高まりを
絶好の成長機会と捉え、
グローバル展開を着実に進めていきます。

代表取締役社長
岡田 満

当期を振り返って

2013年10月の経営統合から、当期で3期目となりました。将来ビジョンや中期経営計画の策定などを通じて旧両社間の理解が進んだことから、生産体制の集約やシナジー創出が加速するなど、統合効果がいよいよ本格的に発揮できる環境が整いつつあると実感しています。

当期の世界経済は、米国や欧州においては緩やかな景気回復が持続したものの、新興国においては中国やアセアン諸国の経済成長の鈍化が表面化してき

ました。足元では中国の景気減速が一段と鮮明になり、世界の株式・為替市場に大きく影響を与え、また中東をはじめとする地政学的リスクも依然あり、景気の先行き不透明感が高まっています。

わが国の経済は、資源安や第3四半期までの円安の背景はあったものの、個人消費や企業の設備投資が伸び悩みました。

このような市場環境のもと、当期のUACJグループの売上高は5,757億円(前期比0.6%増)となりました。販売量の増加や為替換算のプラス影響がありな

からも、昨年5月以降の急激な地金価格下落の影響により、微増に留まりました。

損益面では、地金価格下落による棚卸評価の悪化や、UACJ (Thailand) Co., Ltd. (以下、UATH) ラヨン製造所の立ち上げコストの増加などにより、営業利益は152億円(同35.8%減)となりました。第3四半期の決算発表時では、経常利益80億円を予想していましたが、営業努力やコスト削減効果、棚卸評価の好転などにより、120億円(同43.7%減)となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に発生した北米のローガン工場での設備故障にともなう損失等に対する受取保険金を特別利益として計上したものの、51億円(同41.0%減)となりました。

世界各地での需要の高まりに応える グローバル展開の進捗について

グローバル市場におけるアルミニウム需要は増大を続けており、なかでも当社グループが主力とする飲料缶や自動車用部材の需要の伸びには、力強いものがあります。こうしたグローバルな需要増は、当社グループにとって絶好の成長機会といえます。この機を逃すことなく、しっかりとした戦略に基づく投資を継続し、世界各地で旺盛な需要に応える強固な供給体制を構築していくことで、確かな成長を実現していきたいと考えています。

このような認識のもと、当期も日本、タイ、米国を基

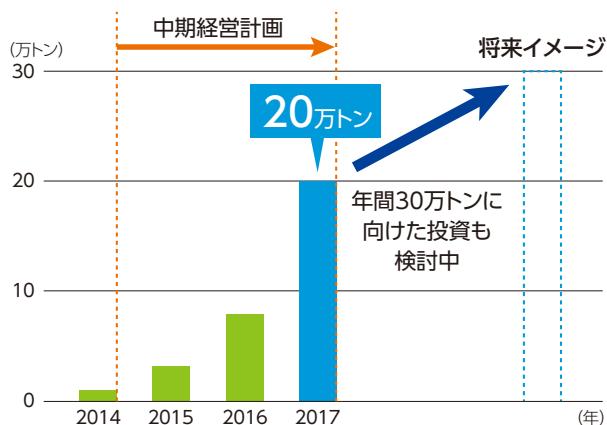
軸としたグローバル生産体制の強化を着実に進めました。その際、利益貢献まで時間を要する拠点新設と、早期の貢献が期待できるM&Aを組み合わせることで、戦略的な投資と財務改善のバランスの最適化を図りました。

一貫生産を開始したタイのラヨン製造所

タイでは、当社グループのアジアにおける基幹工場と位置付けるUATHラヨン製造所が2015年8月に一貫生産体制を確立し、本格的に稼働を開始しました。高品質と低コストを両立したアジアトップクラスのアルミニウム圧延工場として、注目を集めています。

アジア市場では、経済成長や人口増を背景に、飲料缶の需要が拡大しています。また世界中で自動車需要が増大するなか、同製造所が生産する低コストで高品

UATHラヨン製造所の生産量推移



質なアルミニウム材に対する需要は旺盛です。

このような期待に応えるべく2017年度には年間20万トンの供給体制の構築と利益創出を図り、その先も見据えた生産量の拡大を進めます。

北中米で自動車用部材の生産・販売体制を強化

北中米では、燃費規制の強化を受けて、自動車を軽量化するため、アルミニウム材の導入が加速しています。例えばパネル材については、2012年の約10万トンから、2020年には150万トンを超えるまでに需要が拡大すると予測しています。

こうした需要拡大に応えるため、当社は2014年12月に欧州Constellium N.V.社と自動車用部材を製造・販売する合併会社Constellium-UACJ ABS LLCを設

立しました。ケンタッキー州に建設を進めてきた年間10万トンの生産能力を持つ工場が、2016年6月から稼働を開始しており、共同事業のさらなる拡大に向けた検討も始めています。

また、自動車へのアルミニウム材の採用は、パネル材だけでなく、構造材や部材においても急速に進んでいます。そこで、これら分野の供給力を強化するため、Whitehall Industriesのブランド名で知られる同分野における北米のリーディングカンパニーを買収し、UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.として新たなスタートを切りました。

同社単独での利益貢献はもちろん、北中米におけるグループ各社とのシナジーによって、自動車用構造材・部材のビジネス基盤をさらに強化・拡大していきます。



Constellium-UACJ ABS LLC新工場での稼働試験



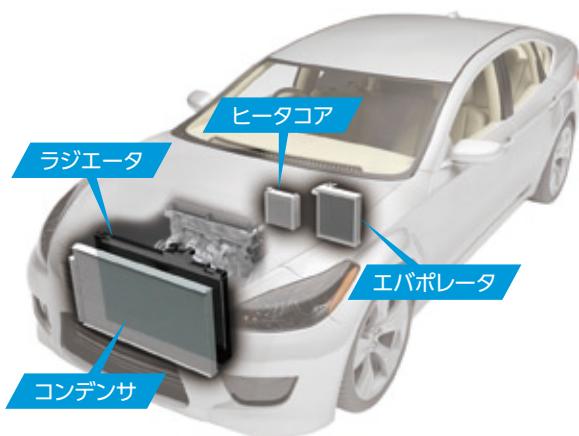
Constellium-UACJ ABS LLC新工場の外観

自動車用熱交換器材のグローバル拡販

燃費性能や快適性の向上を図るため、エンジンの冷却やカーエアコンなどに幅広く使用される自動車用熱交換器に対し、さらなるコンパクト化や高性能化が求められています。当社グループは、こうした高い要求性能に応える自動車用熱交換器材を戦略商品と位置付け、グローバルな供給体制を構築することでさらなる拡販を図っています。

2016年2月には、中国で現地自動車メーカー向けに熱交換器材を供給する乳源東陽光優艾希杰精箔有限公司に対する出資比率を高めるとともに、同社の親会社と共同で上海に販売会社の設立を決定しました。これにより、自動車用熱交換器材のグローバルな供給体制がさらに強化され、高品質なUACJ製品をタイムリーに供給できるネットワークを確立できました。

幅広く使用される自動車用熱交換器



今後の見通しと株主還元について

中期経営計画の2期目となる2016年度は、最終年度を控えて、目標達成に向けて各施策の成果を具現化していく重要な年度となります。このためには、統合効果の最大化や、海外各地で積極化しているM&Aや業務提携、合併会社設立などを軌道に乗せていく必要があります。異なる文化を融合させていくのは容易なことではありませんが、組織が成長する上でまたとない機会でもありと考えています。このチャンスを活かし、UACJグループを真のグローバルカンパニーへと成長させていくことが、経営者としての使命であると認識し、全力を尽くす所存です。

なお、2016年度の見通しとしては、販売面では、UATHラヨン製造所の立ち上げにより供給量が増加する缶材や、引き続き需要が好調な自動車分野などで増加が見込まれます。コスト面では、統合効果の進展や、UATHラヨン製造所の立ち上げにかかるコスト負担の縮小が見込まれます。

これらを踏まえた業績予想として、売上高6,000億円、営業利益245億円、経常利益200億円、親会社株主に帰属する当期純利益90億円と、増収増益を見込んでいます。また、株主還元につきましては、安定配当を重視する観点から、当期と同様に1株につき中間3円、期末3円の年間合計6円を予定しています。

株主の皆様には、UACJグループの成長にご期待いただくとともに、今後も変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集

革新的な製品・技術の開発を担う 技術開発研究所

アルミニウム圧延業界で世界トップクラスの 300名におよぶ研究開発体制

製品開発や利用技術開発、材料設計・生産プロセスに関する技術開発まで、UACJの研究開発を一手に担っているのが「技術開発研究所」です。約300名の研究員を擁し、アルミニウム圧延業界で世界トップクラスの研究開発体制を構築。長年にわたって蓄積した知見と最先端のIoT、AI*技術や高精度な解析装置を駆使して、アルミニウムの新たな可能性を見出し、社会に役立つ製品の創出に取り組んでいます。現在は、得意先との連携や国家プロジェクトへの参画を通じて、エネルギー・環境・輸送機器などの成長分野を中心とする新製品・新技術開発に力を注いでいます。

*IoT:身の回りのあらゆるものがインターネットにつながるという考え
AI:人工知能の意味

1 μ m以下も観察できる
高性能電子顕微鏡 (SEM)



お客様の製造環境を再現した
試作プラント



エネルギー

- リチウムイオン電池
- 燃料電池
- 再生可能エネルギー

輸送

- 自動車
- 航空機
- 船舶

統合により拡大した
リソースを最大限に活用し、
成長分野の製品を開発

300名
におよぶ研究員

最先端研究を
支える
最新装置

国家プロジェクト
や得意先との連携

IoT、AIなどを
取り入れた
最先端技術



環境

- リサイクル
- 排熱

IT・情報

- PC
- サーバー
- 記憶媒体

需要拡大が見込まれる成長分野で UACJの開発製品が活躍

国家プロジェクトに参画し、輸送機器の軽量化に貢献

経済産業省の支援のもとに設立された「新構造材料技術研究組合(ISMA)」に加入し、超々ジュラルミンを超える世界最高強度のアルミニウム材料の開発に取り組んでいます。今後、さまざまな輸送機器に展開していく予定です。

電気自動車など次世代製品にも続々採用

UACJのアルミニウムは、電気自動車など、今後の普及が見込まれる次世代製品にも採用が決まっています。さらなる用途拡大に向けて研究を進めています。

初の国産リージョナルジェットMRJに採用

初の国産リージョナルジェットMRJの胴体と主翼には、軽量な小型機特有の複雑な形状を可能にするアルミニウム合金が採用されており、そこにはUACJ製品も含まれています。

連結貸借対照表

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当連結会計年度 (2016年3月31日)
資産の部			
流動資産		269,889	263,409
固定資産		408,063	399,135
有形固定資産		292,374	292,904
無形固定資産		65,871	60,812
投資その他の資産		49,818	45,419
資産合計		677,952	662,543
負債の部			
流動負債		287,884	249,784
固定負債		202,932	234,177
負債合計		490,816	483,961
純資産の部			
株主資本		151,287	153,931
その他の包括利益累計額		21,018	11,100
非支配株主持分		14,831	13,552
純資産合計		187,136	178,582
負債純資産合計		677,952	662,543

連結損益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
売上高		572,541	575,735
売上原価		500,400	509,176
売上総利益		72,142	66,559
販売費及び一般管理費		48,463	51,348
営業利益		23,679	15,212
営業外収益		2,310	2,511
営業外費用		4,652	5,713
経常利益		21,337	12,010
特別利益		489	3,720
特別損失		2,970	1,754
税金等調整前当期純利益		18,856	13,976
法人税等合計		9,165	8,048
当期純利益		9,691	5,928
非支配株主に帰属する当期純利益		1,043	823
親会社株主に帰属する当期純利益		8,649	5,105

連結包括利益計算書

単位：百万円(四捨五入)

科目	期別	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
当期純利益		9,691	5,928
その他の包括利益		15,729	△11,034
包括利益		25,421	△5,106

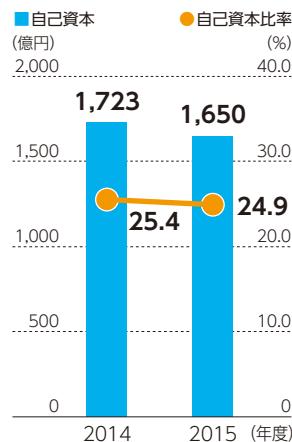
連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円(四捨五入)

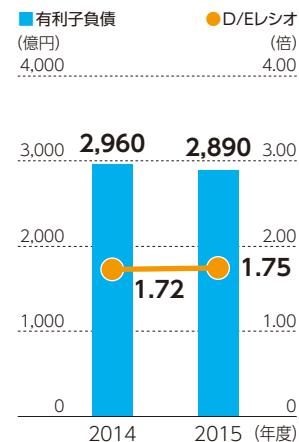
科目	期別	前連結会計年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	当連結会計年度 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)
	営業活動による キャッシュ・フロー		26,777
投資活動による キャッシュ・フロー		△49,668	△34,759
財務活動による キャッシュ・フロー		25,694	11,176
現金及び現金同等物に係る 換算差額		401	△1,064
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)		3,204	△2,135
現金及び現金同等物の 期首残高		17,471	20,949
連結の範囲の変更に伴う 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)		274	—
現金及び現金同等物の 期末残高		20,949	18,814

主要連結経営指標

自己資本／自己資本比率



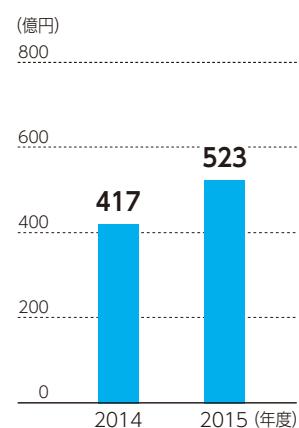
有利子負債／D/Eレシオ



ROE



Adjusted EBITDA*



* Adjusted EBITDA: EBITDA-棚卸評価関係

会社データ (2016年3月31日現在)

名 称	株式会社UACJ (英文名:UACJ Corporation)
事業内容	アルミニウム・銅等の非鉄金属及びその合金の 圧延製品・鋳物製品・鍛造製品並びに加工品の 製造・販売など
資本金	450億円

拠点一覧 (2016年4月1日現在)

本 社	東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
製 造 所	名古屋(愛知県)/福井(福井県)/ 深谷(埼玉県)/日光(栃木県)
支社・支店	中部支社(愛知県)/関西支社(大阪府)/ 九州支社(福岡県) 北海道支店(北海道)/静岡支店(静岡県)
研 究 所	技術開発研究所(愛知県)

役員一覧 (2016年6月29日現在)

取 締 役	代表取締役会長	山内 重徳	執行役員	専務執行役員	白石 重和
	代表取締役社長兼社長執行役員	岡田 満		楠本 昭彦	
	取締役兼副社長執行役員	伊東 修二郎		常務執行役員	松浦 達郎
	取締役兼専務執行役員	荘司 啓三		執行役員	清水 洋二
		中野 隆喜			福井 裕之
	取締役兼常務執行役員	田中 清			新堀 勝康
		土屋 博範			種岡 瑞穂
		渋江 和久			山口 明則
		長谷川 久			阿部 禎一
		石原 美幸			川島 輝夫
	取締役兼執行役員	石原 美幸	田口 正高		
	取締役(社外、非常勤)	鈴木 俊夫	手島 雅裕		
		杉山 涼子	今泉 明人		
監 査 役	常勤監査役	石原 宣宏	松下 彰		
		加藤 一正	稲垣 公樹		
	監査役(社外、非常勤)	浅野 明	吉田 明典		
		佐藤 哲哉	細見 和弘		
		曾根 貴史	大谷 隆英		
		松村 篤樹	竹川 幸男		
			桑本 由紀浩		

株式の状況

発行可能 1,700,000,000株

株式総数

発行済 428,281,934株

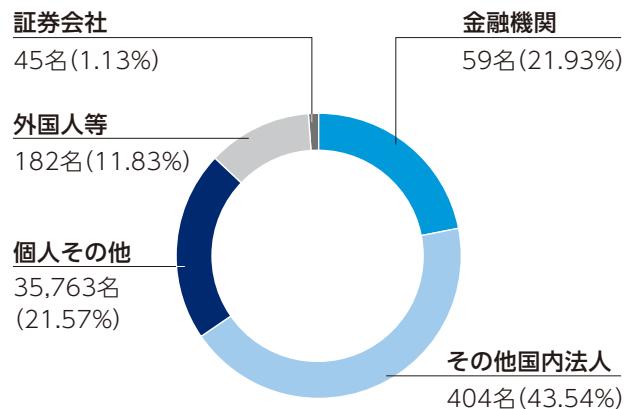
株式総数 ※ 自己株式607,582株を含む

株主数 36,453名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株数比率(%)
古河電気工業株式会社	120,365	28.10
新日鐵住金株式会社	37,446	8.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	28,020	6.54
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	11,244	2.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,939	2.55
住友商事株式会社	7,500	1.75
株式会社みずほ銀行	7,331	1.71
株式会社三井住友銀行	7,330	1.71
UACJグループ従業員持株会	6,597	1.54
三井住友信託銀行株式会社	5,213	1.21

所有者別の構成比率(株式数比率)

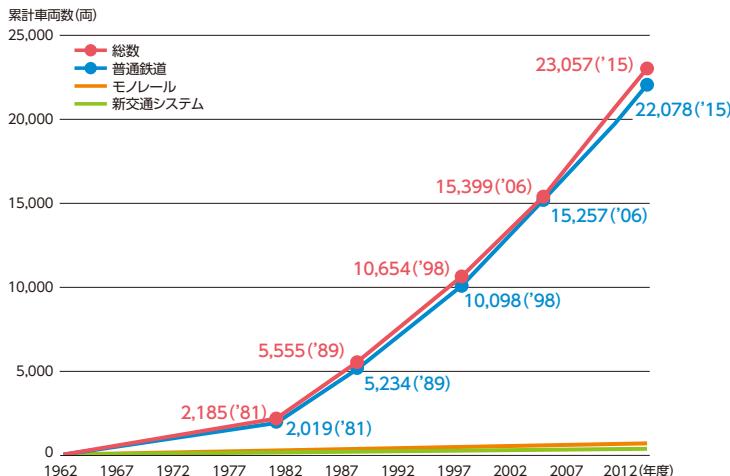


高速鉄道「新幹線」を支えてきた “軽くて強い”アルミニウム

九州新幹線や北陸新幹線、北海道新幹線が相次いで開業されるなど、新幹線には地域振興への貢献が期待されています。あわせて、これまで以上に高速で安全・快適な走行を求められており、それらを実現する車両素材としてアルミニウムの採用が進んでいます。

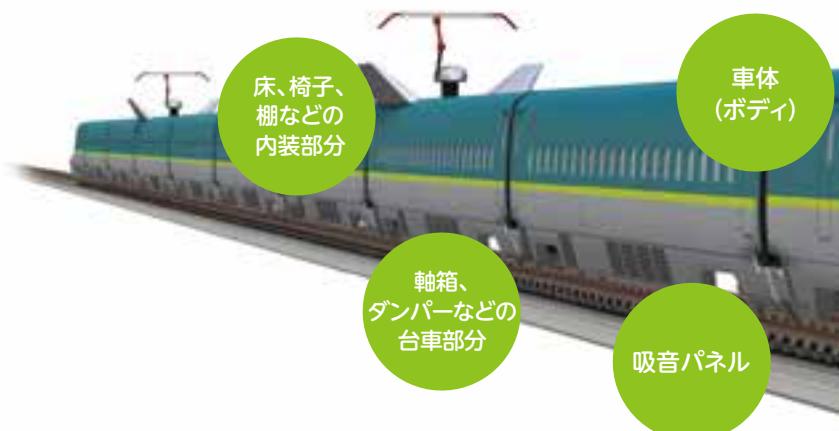
軽くて丈夫なアルミニウムは、車両の軽量化を実現し、高速化やエネルギー消費の削減、騒音・振動の低減などに貢献します。こうした素材特性が評価され、現在では、新規に製造される多くの新幹線車両はアルミニウム製となっています。

アルミニウム合金製車両生産台数推移



出典：(一社)日本アルミニウム協会アルミニウム車両委員会「アルミニウム合金製車両生産実績」

さまざまなパーツに採用され、新幹線の軽量化に貢献



News



2016年3月に開業した北海道新幹線の車体にも、UACJのアルミニウムが採用されています。

山陽新幹線の全線開業40周年エヴァンゲリオン プロジェクトの特別車両にも採用されています。

時代とともに変わってきた
新幹線の“顔”
先頭部分の進化とともに、
高速化・環境性能アップを実現

誕生から半世紀、社会の要請に応じて進化を続けてきた新幹線。その“顔”となる先頭部分にも、さまざまなデザインがあり、近年では空気抵抗を少なくするため、また高速でトンネルに入る際の騒音を抑制するため、優美な流線型となっています。この複雑な形状を実現するために、加工しやすいアルミニウムが採用され、多くの新幹線でUACJ製品が活躍しています。



0系



100系



300系



500系



N700系



E5系



実はココにもUACJ 

東京都およびその周辺を走行する東京メトロの一部車両やホームドアにも、UACJのアルミニウムが採用されています。また、JR東京駅にも当社グループのアルミニウムが採用されています。



写真提供:
(株)住軽日軽エンジニアリング

UACJ 押出加工小山

UACJ Extrusion
Oyama Corporation

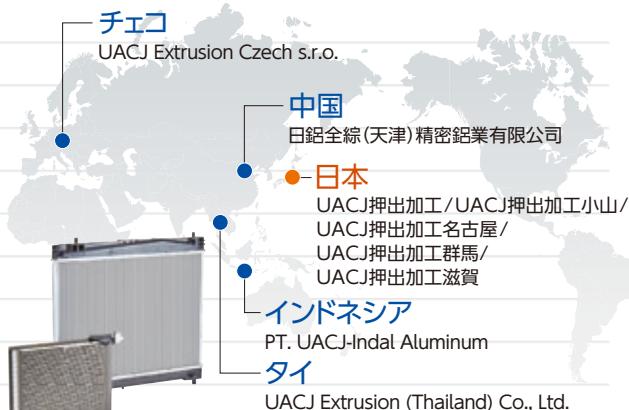


このコーナーでは、国内外の拠点を所属社員が紹介します。
今回は押出事業の中核を担うグループ会社、(株)UACJ押出加工小山を紹介します。

自動車・航空機部材や熱交換器材など アルミニウム押出製品をグローバル市場に供給

加熱して柔らかくなったアルミニウムを金型に向けて押し出す押出加工は、他の加工法では難しい複雑な形状を実現できます。UACJグループは、1960年代から押出事業をグローバルに展開しており、なかでも東日本における中核的な存在がUACJ押出加工小山です。ここでは、さまざまなアルミニウム合金に対応できる鋳造工場を有し、国内有数の設備を取り揃えており、自動車、航空機などの部材や熱交換器材など、要求品質レベルの高い製品を製造しています。

グローバルに展開する押出事業



需要が高まる高難易度製品を国内で唯一生産可能

近年、需要が高まる自動車用熱交換器材として、従来の溶接による継ぎ目のないシームレスクラッド管が注目を集めています。生産に独自の設備と技術が必要とされるため、国内で生産できるのは当社とUACJ押出加工名古屋のみ。

自動車の配管材



こうした独自の強みを活かし、自動車分野の高度な要求に応えるとともに、他の用途、自動車以外の分野にシームレスクラッド材を提案していきます。

UACJ押出加工小山って、どんなところにあるの？

UACJ押出加工小山の近隣に位置する渡良瀬遊水地は、さまざまな動植物を育て、2012年にラムサール条約湿地に登録されました。この遊水地に流入するおもいがつ思川では、毎年7月、紙人形をのせた舟に願いを託して流す伝統行事「流しびな」が行われています。自然や文化が大切に受け継がれている環境で、私たちも50年以上の歴史を発展させています。



写真提供:小山市

株主の皆様とのコミュニケーションの場として、最新の情報を発信します。



工場見学会のご報告

2015年12月6日に名古屋製造所で個人株主様向け工場見学会を開催しました。当日は、製造所長である田口執行役員による工場の説明から始まり、続けて熱間・冷間圧延ラインなどの主要設備とショールームをご覧くださいました。終了後のアンケート「工場見学会全体の印象は？」の問いに対し、9割近くの参加者から「満足」との回答をいただきました。当社では、より多くの株主様にご参加いただけるように、開催する回数や場所の増加も検討しながら、継続的に工場見学会を行っていきます。



参加者からいただいたコメント(一部抜粋)

- 整理整頓されていて、かつマナーが非常に良く感心しました。
- アルミニウムの未来は明るいと感じた。
- 工程がよくわかり、満足です。

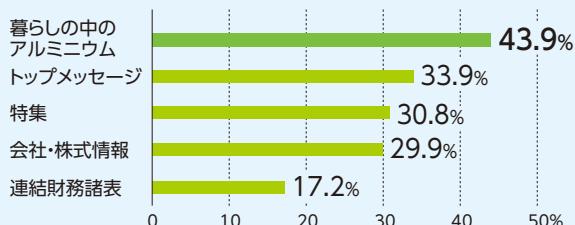


「株主様向けアンケート」の集計結果について

株主の皆様とのコミュニケーション促進に向けて、2016年3月期上半期報告書に同封したアンケートに対し、1,170通ものご回答をいただきました。ご好評いただきました「暮らしの中のアルミニウム」を含め、当社グループの事業をよりわかりやすくお伝えするために、引き続き「株主の皆様へ」の内容の充実を図っていきます。

●「株主の皆様へ」で良かったところはどこですか。

(複数回答含む。上位5位)



●当社のどこに魅力を感じますか。

(複数回答含む。上位5位)



事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
公告方法	電子公告 http://www.uacj.co.jp/ (やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

株式会社UACJ

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目7番2号
東京サンケイビル
Tel. 03-6202-2600(代表) Fax. 03-6202-2021
<http://www.uacj.co.jp/>



単元未満株式の買取制度のご案内

当社では、単元株制度を採用しており、1単元は1,000株とさせていただきます。

単元未満株式(1～999株)は議決権がなく、また証券市場にて売買することができません。

単元未満株式につきましては、法律および当社定款・株式取扱規則の規定に基づき単元未満株式の買取制度をご利用いただけます。

※2016年6月30日までの期間限定で、単元未満株式の買取請求に際して当社にお支払いいただく買取手数料を無料としていますが、2016年12月31日まで延長いたします。

証券口座に株式をご所有の株主様

お取引の証券会社にお問い合わせください。

特別口座に株式をご所有の株主様

下記の通り、お問い合わせください。

●旧住友軽金属工業の株式をお持ちであった株主様

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

●旧古河スカイの株式をお持ちであった株主様

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)